



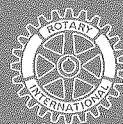
新会員推薦の手引き

大阪ロータリークラブ

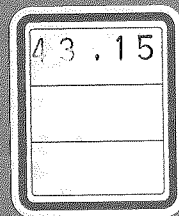
九十周年記念事業委員会



ようこそロータリーへ



大阪ロータリークラブ
90周年記念事業委員会
(2013年6月発行)



新会員を推薦するにあたって現会員へ

私たちロータリアンは、ロータリアンとして立派に理念を実践し、ともにその喜びを分かち合える新しい仲間をクラブに推薦する任務を持つています。

自分がロータリーの新しい会員候補として、クラブに推薦された時のことを思い起してみると、優れた友人をロータリーの新会員に推薦することは、自らにとって、大変意義のあることと考えられます。

会員の増強は、クラブの運営にとっても、奉仕活動の活性化にとっても大変重要なことで、ぜひ、すべての会員が強い関心を持って心がけていただくことをお願いいたします。同時に推薦者は新会員が立派なロータリアンにな

るよう見守り、手助けをする責任を果たしていただきたいと考えます。

以下、推薦する場合の注意事項をまとめました。

一．推薦者の資格

- (1) 当クラブに入会后三年程度在籍した会員であること。
- (2) 推薦者は候補者を良く知っていること。
- (3) 会員選考委員長は推薦者となれない。

二．新会員候補者の資格

- (1) 事業所または住居が大阪市内にあること。
- (2) クラブにおいて分類している職業に自ら現実に六十%以上携わっていること。
- (3) ロータリーの定款や細則にのっとり、諸規則を守り、立派なロータリアンとして、協調・貢献できること。

三．推薦及び新会員選出の手順

- (1) 自分の知人の中からロータリアンとして、適格な新会員候補者を探す。

(2) 幹事に候補者の氏名・職業を知らせ、その適格性（新会員候補者の事業所または住居が大阪市内にあるかどうか、人格や評判、ロータリアンとしての適合性があるかないかなど）につき充分幹事と共に相談・協議のうえ、幹事印のある推薦書を受領する。「新会員推薦書」の受け渡しについて幹事は慎重に取り扱う。

(3) 推薦者は「新会員推薦書」を受取った後、新会員候補者の当クラブへの適格性を充分配慮・検討の上、必要事項を記入し、「新会員推薦書」を幹事あて提出する。

(4) 幹事は「理事会」において、新規候補者につき付議し、理事会は「会員選考委員会」に審査を依頼する。

(5) 会員選考委員会は新会員候補者の資格及び職業分類について審査し、その結果を理事会に報告する。

(6) 理事会は委員会の勧告を審議し、入会の承認または不承認を決定する。

(7) 承認されれば、全会員宛、告知をし、発表後七日以内に会員の誰からも書面による異議申し立てがなければ、幹事は選考の結果を推薦者及び情報委員長に通知する。

(8) 情報委員長は推薦者、被推薦者と日程を調整の上、職場訪問をし、被推薦者の入会の意思を確認、「入会申し込み書」の提出と入会日の出席を求めらる。

(9) もし、新規会員告知に対し、正式書面にて、理事会に異議の申し立てがあった場合は、定時または臨時の理事会において、その新会員候補者の入会承認について再審議し、無記名投票を行う。入会承認を可とする票が理事会総数の三分の二以上であった時に限り、異議申立を却下して、入会承認が維持されるものとする。

四、初例会（入会式）・情報委員会への出席

(1) 入会承認を受けた新会員のために、例会において入会式を行う。入会式において、会長は会員に対して入会承認された新会員を紹介し、会員証とエンブレム（徽章）を交付し、新会員は、簡単な自己紹介を行う。

(2) 入会式のための例会は、原則として毎月最終例会日とする。

(3) 入会式が行われる例会日の例会前に、入会しようとする新会員のためにロータリー情報委員会を開催する。この情報委員会には、新会員、推薦者、会長、幹事、情報委員会委員が出席し、新会員に対し入会に際して、ロータリアンとしての心得など種々の情報を提供する。なお、幹事は、入会前の情報委員会前に、入会に際しての必要な書類の説明を行う。

五、推薦書提出から入会までの期間

新規候補者の「推薦書」は、原則毎月第一例会前に開催の「理事会」で新規候補として受け付けられ問題がなければ翌月の理事会で承認。その後、全会員への告知、職場訪問が行われ、翌月の「入会式」が行われるまでの約二カ月の期間を要する。

※推薦者であれば、被推薦者に内々、予めそのことを通知し、二カ月後の最終例会日の例会前の時間（十一時三十分）から例会終了（十三時三十分）まで予定しておく、入会までスムーズに運ぶことができる。

※クラブ細則には「資格の認定」という条項に「已むを得ない事由がある場合を除き、推薦書の提出を受けた理事会の日から三十日以内に資格の有無を認定し、かつその結果をクラブ幹事を通じて、推薦者に通知しなければならぬ」とあるが当クラブの場合、理事会に新規会員候補者として提出された推薦書は翌月の理事会で資格認定がなされている。

付録

九十周年記念特別事業として、本冊子を発行したが、本書と同時に新入会員を囲むロータリー情報委員会や例会風景・例会出席・例會行事の手順についても映像を作成、DVDに収めている。併せて視聴もお願いしたい。

新入会員には職場訪問時にお渡しするが、希望会員にはお申し出あれば進呈する。

はじめに

《大阪ロータリークラブを知る手引き》

大阪ロータリークラブに新しく入会される方はもとより、関心のある方々にとって、大阪ロータリークラブはどのようなもので、どのような運営、どのような活動を行っているのかが理解出来る手引きを作成する。

この計画が大阪ロータリークラブ創立90周年記念事業の一環として取り上げられ、今回このような形で上梓されました。

大阪ロータリークラブの輝かしい伝統と歴史、先人の活躍ぶりは記念史をご覧くださいととして、ポケットサイズで手軽に携帯し、ご活用いただければと存じております。

(手引き作成委員長 斎藤洋一)
(90周年記念事業委員長 黒田章裕)

ロータリーの魅力について語る

人は一人では生きられない。一人で生きられない人間が幸福になる第一の条件は愛する家族を持つことであり、第二は多くの良き友人を持つことでしょう。ロータリークラブ、取り分け大阪ロータリークラブはこの第二の条件を提供してくれる最高の組織です。

勿論ロータリーは奉仕の精神を持つものの集まりです。ロータリアンたる者常に奉仕を心がけなければなりません、その第一歩は身近な人、即ち家族、友人への親切から始まるのではないのでしょうか。

親切はされた人よりもした人を幸せにします。ロータリーが楽しいのはこの為だと思います。例会は勿論、趣味の会の集まり、フォーラム、家族会、家族旅行、そしてテーブルミーティングとどれをとっても楽しい行事であり、その楽しいロータリー生活の中から自ずと奉仕の心は生まれます。200余名の良き友人を持つ幸せ。それこそがロータリーの、大阪ロータリーの最大の魅力です。

(2000～01年度会長 川島康生)

大阪ロータリークラブの魅力

当クラブは90年もの歴史あるクラブです。各界で活躍されている方が多く、年齢層も幅広く、35歳～90歳までで、平均年齢は67歳です。世代が違くと交流しにくいと思われませんが、諸先輩方のお蔭で、我々は皆世代を超えて、息子や孫のように接していただいて、一つの家族のように仲良くしていただいています。

我々若い世代が先輩会員に話しかけると、先輩会員は楽しそうに応えてくださいます。

まず話しかけてみることで。伺ってみると外国勤務が長い方がおられたり、様々なジャンルの仕事をされてきたりと先輩会員の深い経験を知ることになります。その経験を語っていただくことにより、我々も経営のヒントや人間としての知恵もいただきます。

「世代の隔たりを超えた友人を得る異業種交流の特別な場」です。

伝統を守りながらも、未来に向けて発展していく当クラブに在籍できましたことを大変誇りに思っております。

(2012～13年度 インターアクト委員会委員長・衣斐茂樹)

大阪ロータリークラブについて

創 立 1922 (大正11) 年11月17日
日本で2番目に創立された伝統あるクラブです。

区 域 各ロータリークラブはクラブの区域が決められており、当クラブ区域は「大阪市」となっており、2660地区(1010～9980地区)に属します。大阪市内に事業所または住居の存在することが会員の資格の一つです。

例会日 毎週金曜日 12:15～13:30
(ゆっくりと食事をとっていただくため、開始時間を早めています)

例会場 リーガロイヤルホテル
2階「山楽の間」
(例会場は禁煙です)

事務局 〒530-0005 北区中之島5-3-68
リーガロイヤルホテル418号室
TEL 06-6448-1121
FAX 06-6441-7720

E-Mail secretariat@osaka-rc.org
URL osaka-rc.org

何がロータリーの目的か

一言でいえばロータリーアンめいめいが常にサービスの精神を守り抜くことにあります。この考え方は「The Object of Rotary」(23ページ参照)として次のように表現されています。

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」。

ロータリークラブは実業家及び専門職業人のクラブです。仕事のない人は会員になれない建前です。どんな職業でも、仕事でも、たいがい他人の役に立っているものです。他人の役に立たないようなものは、有益な職業ではありません。

ロータリーの目的が事業中心になっているのは、もちろん職業人の集まりであるからですが、サービスの精神が日々の仕事の根底に取り入れられたらどれほど、明るい、良い世の中になることでしょう。

社交クラブとは違う

自分が志願して入るというのではなく、クラブのほうで適格な候補者を探して入会をお願いするとことになっています。サービスの精神を身に着けその実践に心がける人々の集まりです。

見物席は設けていない

ロータリーのサービスは、日本で「奉仕」と言っていますが、このサービスは一人ひとりが行うものです。時にはクラブが団体的に行うこともないではありません。しかし、これはサービスの見本として会員に示すのが本旨でそれに意義があるのです。

ロータリーに入会された上は、会費を払って昼食を一緒にしておればよいという訳にはいきません。サービスや活動は会長や役員や委員長に任せるというのではなく、自らサービスを心掛けて、己の心を豊かにし、他人の規範となる、他人のお役に立つことを常に考える。この心構えを切磋琢磨するための道場がロータリークラブです。

その道場へ通うのが毎週1回のクラブ例会、あるいはその他の委員会活動となります。

ロータリーの歴史

ロータリーの歴史は、まだ100年と少し。1905年2月23日にアメリカのシカゴで誕生しました。日本はそのころ、ロシアと戦争の真最中で明治38年。

創始者はPaul Percy Harrisという37歳の青年弁護士で、シカゴは不況のさなかにあり、商売道德が地に堕ち、人心がすさんでいる中、温かい友情を探していたPaulが「一業種一人制」と「定例の会合」を原則にして、3人の協力者を得てこのクラブを生みました。

日本にロータリーが伝わったのは15年後の1920年（大正9年）のことで、東京の三井銀行（当時）の重役であった^{よねやまうめきち}米山梅吉氏が東京RCを創立。翌々年の1922年（大正11年）に我が国2番目のクラブが当大阪にできました。大阪RCの創設者は、^{ほしのゆきのり}星野行則という加島銀行（当時）の重役で、2012年（平成24年）11月に

90周年を迎えました。

今やロータリーは急速の進歩を遂げてアメリカ、日本国内にとどまらず、200以上の国に広がっています。

尚、現在日本には大阪RCがスポンサーとなって創立されたクラブが39クラブあり、西日本の殆どのクラブはそれらのクラブがスポンサーとなった大阪RCの孫クラブです。

また、ソウルロータリークラブとメルボルンロータリークラブとは姉妹クラブです。

歯車の徽章は何の意味か

ロータリーという言葉は「めぐる」という意味で、Paul Harrisがロータリーを創設した時、一定の会場がなく会員の事業所を順番に回って会合していたことから、「ロータリークラブ」という名が付けられたようです。今では、どこのクラブも例会場は一定していますが、クラブの会長や役員は毎年回り持ちで交替しています。

ロータリーの徽章は歯車ですが、創立当初はただの車輪でした。回り歩くというので車輪を徽章に選んだのですが、そのうち、「歯車」に進歩したのは、会員相互の接触をよくし、噛み合わせを密にして、活動の効率を上げること、さらには起動力を他に伝達するという意味を加えたのです。

現在の徽章が決定したのは、1922年（当クラブが誕生した年）でありました。

庶民のクラブ

そのロータリーの徽章はエリートの象徴ではありません。「私は常時サービスを心掛けている」ことを自分にも言い聞かせ、他人に対してもお役に立ちたいことを示すための徽章です。ですからこの徽章はロータリーの会合の時だけではなく、毎日着用していただきたいのです。お金持ちやお偉方のグループだと世間から誤解を受けまいふるまっていたいただきたいものです。

ロータリーはどこまでも一般庶民のクラブであることを認識いただければと思います。意味のない社交に明け暮れしている集まりのように、陰口をきかれないことが望ましいのであります。

ロータリーの組織

ロータリークラブは頭に地名を冠した名称を用いることになっています。それぞれ皆独立自主のクラブであります。会員数は少なきは25人、日本で最大なのは東京RCの330人であります。

当クラブも1988年頃は300人を超す会員数でしたが、今は260人ほどになりました。

世界でも1970年代には800人を超すクラブがありましたが、最近は200～300人が最多など、かなり会員の減少がみられます。

しかし大小はあっても皆同格であり、本部とか支部とかの関係にはありません。クラブは皆同じ目的と同じ組織を持っていて、世界的な連合体を形成しています。

この連合組織を国際ロータリー・RI (Rotary International) と呼びます。この名称が確定したのも、当大阪RCの誕生と同年の1922年であ

ります。国際ロータリーのメンバーは200カ国以上におよぶその地にある各ロータリークラブで、ロータリアン個人はそれぞれのクラブのメンバーであっても国際ロータリーの直接のメンバーではありません。従って「国際ロータリークラブ」という呼び方は間違いです。

国際ロータリー (RI) の中央事務局は米国イリノイ州のエバンストンにあります。

ロータリアンの特権

ロータリアンには特権と義務があります。

どんな特権があるかと申しますと、大阪市内・日本国内・また、海外いずれの国にもロータリークラブがありまして、いずれのロータリークラブもあなたの来訪を心から歓迎してくれるのです。

ロータリアンであればすべてのロータリアンを友人として持つことができ、初対面であっても旧友のように心許し合える、信頼できる友達となれるのです。

ロータリアンの義務

特権の存在するところ、必ず義務が付随するのは当然であります。

- 第一 会長が委嘱する**委員会**に委員として所属し、委員としての活動に参加しなければなりません。（5大奉仕部門に各委員会があります）
- 第二 毎週1回自分の**クラブの例会**に出席すること。
- 第三 例会後に場所を変えて開催される年に5回の**クラブフォーラム**に出席すること。
- 第四 例会時の着席テーブルごとの**テーブルミーティング**に出席すること。
- 第五 大阪府下のクラブを統括する2660地区主催の行事・**地区年次大会**や**IM**（Intercity Meeting）に参加すること。
- 第六 国際ロータリーが主催する**国際大会**などに参加すること。

以上の様な義務があります。

※ロータリー地域雑誌「ロータリーの友」購読全員に毎月郵送され購読・実読の義務があります。

メイクアップ（欠席補てん）

やむなくクラブ例会に欠席の場合はその例会の前後2週間ずつの間に他のいずれかのロータリークラブの例会に出席されればメイクアップ（欠席補てん）となります。

前頁 ロータリアンの義務 第三～第六 の各種会合に出席すれば他のクラブ出席と同じようにメイクアップの対象となります。

ロータリーの決まりとして、出席率はメイクアップも含めての50%以上が求められています。当クラブには100%を毎年続けておられる会員が多数おられます。1年間皆出席を続けると次の2年間・3年間と続けたいくなるという会員が大勢おられます。最長の皆出席会員は40年を越しています。

友好を図るメイクアップ行事

友好（親睦）を図る一環として、4ヵ月に一度組み換えのあるテーブルごとの夕食会・テーブルミーティングが各位の都合を合わせ開催されます。

また、毎年クラブ創立の11月17日を記念して、「秋の家族会パーティ」が11月の夕刻ホテルで開催されますし、春には原則一泊二日の家族旅行会が計画されます。

各々、メイクアップ対象行事となります。

共に食事するという共通項はクラブ内の交流の輪が広がる良い機会です。

ニコニコ箱

例会場にニコニコ箱が用意されています。

このニコニコ箱は当初は罰金箱とよばれていましたが、嬉しいことがあった時にも寄付するように、大阪RCが名前を変えたのです。

今では日本中でニコニコ箱と呼ばれています。

また、**新入会員**にはご入会の日に、「入会を記念して」というメッセージと共にニコニコ箱に寄付（10,000円）をお願いしています。

これらのニコニコはその日の例会席上でメッセージと共にお名前が発表されます。

また、お誕生日当日やお誕生日が過ぎた翌金曜日の例会で会員のお誕生日のお祝いをしています。お祝いとして記念品をお渡ししていますが、10,000円のお誕生日用ニコニコをお願いしています。（記念品と共に誕生日用ニコニコ袋のご用意あり）

クラブ会報や案内文書などの扱いについて

クラブ会報を中心に毎週月曜日に、クラブから全会員にブルーの封筒に入れた各種案内文書の書類が郵送されます。

クラブからの封書はできるだけ秘書任せにしないでご自身で24時間以内に処理願います。特に返信はFAXでお願いすることが多いのですが、必ずお願いします。

クラブ会報には例会の卓話や例会行事記録、必要な情報など、ニコニコ箱の記録も含め掲載されていますので、会員間の情報を得るためにも必ず、目を通してください。

また、この会報記録はインターネットでも手軽にアクセスできます。事務局にお尋ねください。

会員候補者の資格

- 第一 当クラブ会員2名からの推薦があること。
- 第二 善良な成人で職業上良い世評を受けていること。
- 第三 有益な事業または専門職業において、経営・管理の重要な地位にあること。
- 第四 クラブにおいて分類している職業に自ら現実に60%以上携わっていること。
- 第五 原則的に事業所または住居がクラブの区域（大阪市）にあること。
- 第六 他のロータリークラブの会員は重複してはいることはできず、また移籍も原則認められてはおりません。

入会に伴う費用

入会金	100,000円
入会協力金	100,000円
年会費	320,000円 (新入会員には入会月により月割り)
新入会時	※ロータリー財団寄付 300ドル ※米山奨学会 30,000円

※ロータリー財団：

国際ロータリー（アメリカ）に本部があり、ロータリーレートにより換算、円建てで寄付。

その寄付金は世界理解、親善、教育への支援、貧困を救済したり平和に寄与するプログラムに使われます。

※米山記念奨学会：

日本ロータリーの創設者名を冠名にした奨学金制度。勉学の為に来日している外国人留学生に支給する奨学金制度です。

☆いずれも免税措置のある寄付制度です。

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- I — Is it the TRUTH?
- II — Is it FAIR to all concerned?
- III — Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- IV — Will it be BENEFICIAL to all concerned?

〈四つのテスト〉はロータリアンの行動の指針です。

- I — 真実かどうか
- II — みんなに公正か
- III — 好意と友情を深めるか
- IV — みんなのためになるかどうか

THE OBJECT OF ROTARY

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

- **FIRST.** The development of acquaintance as an opportunity for service;
- **SECOND.** High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;
- **THIRD.** The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;
- **FOURTH.** The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.